

<第4議案>

2018年度収支予算(案)

17ページに2018年度収支予算案を示す。

<全体説明>

常勤スタッフ1人体制を維持することを前提に、当年度で次年度繰越金を解消する予算とした。

1. 会費収入について

17年度決算(536万円)をやや上回る額の560万円を目標とする。17年度決算額に比して24万円の増額となる。

2. 事業収入・支出について

事業収入は17年度決算比約45万円の増額を見込む。

- 「イアブック」2018 販売収入140万円、経費80万円で、差引60万円の収益を見込む。「イアブック」2015-17 販売収入60万円を見込む。
- 「情報サービス・調査受託」収入として、17年度決算とほぼ同じ200万円を見込む。
- 4～5月にウィーンで開かれる20年NPT再検討会議・第2回準備委員会、5月にニューヨークで開かれる国連総会ハイレベル会合への派遣費用として、計60万円を見込む。
- 出版事業費「その他」は、「20年のあゆみ」冊子の出版経費に25万円を当てる。
- 「事業委託費」は、米軍関連の調査謝金(年約20万円)に当てる。
- 「事務委託費」として会計業務に37万円を当てる。

3. 寄付金収入について

一般寄付金は夏季、冬季を含めて90万円を目標に設定する。

前述の海外派遣費用に充当するための海外派遣寄付金は30万円を見込む。会員・『モニター』読者を中心に「海外派遣カンパ」を募るほか、クラウドファンディングなども活用する。

4. 助成金収入について

各種助成団体への申請、「よこはま夢ファンド」への助成金申請(財源は同ファンドへの市民からの寄付金)によって、200万円を確保することを目指す。

5. 管理費について

- 常勤スタッフ1人体制とし、「給料・手当」、「法定福利費」、「福利厚生費」などの所要額を見込む。
- その他費用は17年度決算額を基準とし、所要の調整のうえ積算した。

——以上